

進路だより ひらぎ

令和3年9月10日

令和3年度 第4号

東京都立しいの木特別支援学校
第三分掌 進路指導部

日頃より、本校の進路指導についてご理解、ご協力を頂き、誠にありがとうございます。

第Ⅰ期現場実習は、3年生を中心に、新型コロナウイルスの影響で期間を短縮しながら実施しました。緊急事態宣言が明けましたら順次、第Ⅱ期現場実習を開始します。3年生は具体的な進路先を見据えた実習が始まります。1・2年生についてもできる範囲での現場実習を行っていく予定です。

本号では、1学期末に高等部福祉園生を対象とした、校内実習の様子と、夏休み中に実施された卒業生のアフターケアの報告をいたします。

【校内実習】

7月15日（木）～16日（金）の2日間で、高等部福祉園生を対象とした校内実習を実施しました。校内実習は、新型コロナウイルス感染症により、校外での現場実習に行くことが難しくなっている状況を踏まえ、昨年度から実施している取り組みです。

1年生は初めての実習で緊張している様子も見られましたが、自分のペースで参加することができました。2年生は、昨年度の経験を活かし、各自、目標を明確にして実習に取り組むことができました。3年生は、各グループの手本となり、時間を守ることや適切な声量で挨拶をすること等を意識することができました。

今回学んだことを、今後の現場実習に活かすことができるよう、頑張りましょう。

《打ち込み作業》



《備品の確認・整理作業》



《全体会の様子》



《来客用スリッパの清掃・整理作業》



（文責：割谷ちひろ）

卒業生アフターケア

夏季休業を利用し、進路指導部で卒業生の定着支援の一環として、過去3年間の卒業生を対象にアフターケアを行なっています。今年度も、昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響で、電話での聞き取りを中心に、情報交換を行いました。卒業後スムーズに移行していくために、職場や就労支援・生活支援センターなど、相談機関もうまく利用しながら生活を送ってほしいと思います。今後も、必要に応じて連絡を取り、迅速に事態に対応していきたいと考えています。

【企業就労】

都内に企業就労した方は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、5割から7割程度の勤務となっている企業が多いようです。そのなかでも、自分で生活リズムを整えようと自ら運動をし、早寝早起きを心がけている卒業生や、休日はマスクの着用や、手指消毒などの感染防止に気を付けながら適度な外出を楽しんでいる卒業生がいました。

「仕事は大変だけど、やりがいを感じる」「仕事を任かされることがうれしい」と頼もしい発言をし、意欲的に働いている卒業生の姿を見ることができ嬉しく思いました。

アフターケアを通して、しいの木特別支援学校の卒業生が、社会の中で活躍している姿をたくさん見ることができました。

《後輩たちへのメッセージ》

「作業学習や職業で学んだことが役立っています。
学校生活を大切にしてください」



【施設入所】

北海道から九州まで、それぞれの場所で、頑張っている様子が見えました。また、施設から別の施設への移行を選択される方もいらっしゃいました。

新型コロナウイルス感染の防止のため、面談や実習を当面の間は中止している施設が大多数でした。施設等を探すに当たり、地域の福祉課など支援機関との連携がさらに重要になってくると感じました。しいの木特別支援学校では、高等部1年生から福祉課訪問や連絡を行い、連携を図っています。それぞれの希望する進路の実現のために、今後とも、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

(文責：鈴木拓)